

令和 5 年度 第 4 回 埼玉支部評議会 議事概要

| | |
|---------|---|
| 開 催 日 | 令和 5 年 12 月 8 日 |
| 出席評議員 | 石井評議員、甲原評議員、小林評議員、須藤評議員、高場評議員、中川評議員、町田評議員（五十音順） |
| 開 催 場 所 | 全国健康保険協会埼玉支部 大会議室 さいたま市大宮区錦町 682-2 大宮情報文化センター（JACK 大宮）17 階 |
| 議 題 | <p>【報告事項】</p> <p>①第 6 期保険者機能強化アクションプラン(案)及び令和 6 年度事業計画(案)の概要について</p> <p>②令和 6 年度保険料率について(支部評議会における意見)</p> <p>③インセンティブ制度に係る令和 4 年度実績について</p> <p>④その他</p> |

| | |
|---|--|
| 議 事 概 要 | |
| <p>評議員からの意見、質問及びそれらに対する事務局からの回答は以下のとおり。</p> <p>① 第 6 期保険者機能強化アクションプラン(案)及び令和 6 年度事業計画(案)の概要について (事業主代表)</p> <p>確認させていただきたい部分が 2 点。 まず、次の 3 年(令和 6 年度からのもの)の中で特にこの分野を強く取り入れていきたいというような部分があればお話しいただきたい。 次に、マイナ保険証の来年秋に向けての話があったが、夏頃に話題になっていた情報が合わない等の問題は解消されているのかお聞きしたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>1 点目について、協会全体としては基本的に資料 3 ページにお示ししたとおり。一例として、保健事業については第 5 期の目標からかなり乖離している部分があるため、その点をまた改めて様々なデータを分析しながらどういった進め方が最も効果的かということを考えつつ取り組んでいく。支部としては、健診・特定保健指導の率が 47 都道府県の中で最下位に近いため、そこについては力を入れていきたいと考えている。</p> <p>2 点目の誤登録に伴う総点検については、協会含め全保険者が 11 月に見直し・修正を行い、11 月末までには完了したと認識している。来年秋の保険証廃止については予定通り実施するときいており、協会内でも準備を進めていく。</p> <p>(学識経験者)</p> <p>広報のところで「顔の見える地域ネットワーク」という言葉が出てきたが、具体的には健康保険委員以外にもあるということか。広くしたのか、その辺りを教えていただきたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>健康保険委員や事業主との関係ということもあるが、経済団体をはじめとした関係団体・組織とも直接</p> | |

顔を合わせながら説明することで、協会を取り巻く現状について理解を深めていただく。

(学識経験者)

資料 1-1 のところで、第5期のプランから第6期への対照表のようなものがあるが、戦略的保険者機能の部分でジェネリック関係が削除されている。ほかの資料を見るとジェネリックはそのまま記載されているが、やはりジェネリックは数が不足しているとしてもこれを利用促進していかなければ、結局医療全体や薬価の部分に関わってくると思う。これを敢えて削除しているのは何か意図があるのか。

(事務局)

1つは国が目指した 80%という目標を概ね満たしているということ。また、第6期アクションプランでは、医療資源の適正使用の項目に含める形となっている。

(学識経験者)

事業計画には入っているという認識でよいか。

(事務局)

ご認識のとおり。医療費の適正化の取組の一つとして、引き続きジェネリックの使用促進を図り、医療機関にも働きかけを行っていく。支部によってはまだ 80%未達のところもあるため、そういうところは引き続き重点課題として取り組むこととなる。

(学識経験者)

次の KPI を探すまでにとりあえずということによいか。

(事務局)

どのようなものになるか分からないが、医療費適正化に資する KPI が改めて設定されると認識している。

② 令和 6 年度保険料率について(支部評議会における意見)

(学識経験者)

前回の運営委員会で、支部から上がってきた意見を資料として提出されているが、運営委員会の中で運営委員の皆様にもお目通しいただ際に、支部意見の受け止め方、議論の内容・方向性についての話はあったのか。

(事務局)

まだ議事録等が届いておらず回答できない。もうしばらくすると情報が入ってくると思われる。

(学識経験者)

そこで特徴的な意見等があれば、次回の評議会で共有いただきたい。

③ インセンティブ制度に係る令和 4 年度実績について

(学識経験者)

特定健診と特定保健指導が相当足を引っ張っていて埼玉は 45 位という結果になっているが、予防・健康づくりの項目についてウエイトが高くなったことがやや裏目に出ている。ここを頑張らないとおそらく埼玉はずっと下位で、いつまでも報奨金をもらえないという立場になるため、そこはやはり頑張っていかなないといけないと思った。

(事業主代表)

順位の変動が大きな支部はあるのか。大体定位置みたいになっているのか。

(事務局)

必ずしも実績値だけでの評価ではなく伸びと実績のウエイトが5:5であるため、一度上位となり伸びしろが減ってくれば、上位を維持するのが大変になってくる。そうした点も影響し、動きはみられる。例えば今回福岡支部が6位になっているが、福岡支部は加入者数の多いインセンティブ制度においては不利と言われる大規模な支部であるが、昨年の44位から上昇した。このように伸びが良いと順位が上がる場合もあるので、まだまだ埼玉支部も上位を目指せると考えている。

(学識経験者)

来年期待している。

④ その他

特になし

特記事項

・ 次回は、令和6年1月開催予定